

1 単元名 走・跳の運動 (小型ハードル走)

2 単元の目標

- 小型ハードルを調子よく走り越えることができるようにする。 (技能)
- 運動に進んで取り組み、きまりを守り友達と励まし合って練習や競争をしたり、勝敗の結果を受け入れたりすることができるようにする。 (態度)
- 自己の能力に適した課題を設定し、課題解決のための練習方法や練習の場を選ぶことができるようにする。また、友達に適切な助言ができるようにする。 (思考・判断)

3 単元について

(1) 教材観

小型ハードル走は、小型ハードルを自分に合った一定のリズムで走り越す運動である。また、走る・跳ぶなどについて、仲間と競い合う楽しさや、調子よく走ったり跳んだりする心地よさを味わうことができ、体を巧みに操作しながら走る、跳ぶなどのいろいろな動きを身に付けることを含んでいる運動である。また、児童にとっては、自分の技能の伸びをタイムだけでなく、ハードリングの技術の側面からも実感することができ、一人一人が自己の技能に応じた目標をもちやすく、仲間と教え合いながら技能を高めていくことのできる単元でもある。これらのことから、一人一人が目標をもち、仲間とともに運動の楽しさを味わいながら練習を重ねることで、互いに高め合える力を育てていきたい。

(2) 児童の実態

表2 体育に関する実態調査 (平成*. *. *実施 **立**小学校第4学年*組*名)

体育に関する実態調査	
1…よくあてはまる 2…だいたいあてはまる 3…だいたいあてはまらない 4…あてはまらない	
質問	割合 (1, 2群 3, 4群)
体育の学習は好きですか。	1, 2群*% 3, 4群*%
体育が得意ですか。	1, 2群*% 3, 4群*%
自分で目標を決めて学習を進めた経験がありますか。	1, 2群*% 3, 4群*%
動きを振り返ったり、確認したりしたことがありますか。	1, 2群*% 3, 4群*%
友達にアドバイスをしたことがありますか。	1, 2群*% 3, 4群*%
友達にアドバイスをしてもらったことがありますか。	1, 2群*% 3, 4群*%
陸上運動系 (走る, 跳ぶなど) は好きですか。	1, 2群*% 3, 4群*%

体育に関する実態調査の結果、本学級の児童は、「体育の学習が好きですか」という質問に*%の児童が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と肯定的に答えており、体育の学習への意欲は高いことが分かる。しかし、「動きを振り返ったり、確認したりしたことがありますか」という質問では、肯定的な回答が*%にとどまった。また、「陸上運動系 (走る, 跳ぶなど) は好きですか」という質問に関しては、*%が肯定的な回答であった。このことから、体育の学習は好きで意欲的に取り組んでいるが、動きの振り返りやそれに伴う友達同士の交流やアドバイスの経験が不足していることが考えられる。

(3) 指導観

本単元では、毎時間の導入段階で、技能のポイントを焦点化したドリル学習を行い、ハードル走の基本的な動きを身に付けさせたい。さらに、自己の課題を明確に捉えさせるために、技能のポイントを第一ハードルの踏み切り足、ハードル間の歩数、走り越す高さに焦点を当てる。技能のポイントを踏まえた自己の課題を自ら設定し、課題に応じたピブスを着用しながら練習を行うことで、自己の課題を焦点化させ、技能の向上に努めていきたい。また、友だち同士で課題に応じた具体的なアドバイスをするための手立てとして、iPadや掲示物、人形を使用することで、対話的な学びを助長し、お互いに高め合う力を育てていきたい。

4 単元の評価規準 (学習活動に即した評価規準)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
た 学 評 習 価 活 規 動 準 に 即 即 し し	①小型ハードル走の学習に◎積極的に取り組もうとしている。 ②決まりを守り、友達と◎励まし合って練習や競争をしようとしている。	①自己の能力に適した課題を◎的確に選んでいる。 ②友達の走りに対して、技能のポイントに即した◎的確な助言をしている。	①第一ハードルを、◎スピードを落とさずに走り越えることができる。 ②インターバル間を◎一定のリズムで走り切ることができる。 ③ハードル上で◎素早く上体を前傾させて走り越えることができる。

◎下線は十分に満足できる姿

5 指導と評価の計画（5時間扱い）

段階	時間	主なねらい，学習活動	評価の観点		
			関・意・態	思考・判断	技能
はじめ	1	<p>単元のねらいや学習の流れを理解し，意欲をもつことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列し，あいさつをする 2 学習のねらい，学習計画を知る 3 学習の進め方を知り，場の設定を行う 4 準備運動を行う 5 記録会を行う 6 技能のポイントを知る 7 学習カードに本時の振り返りを記入する 	①		
なか①	2	<p>自己の技能に合った課題を選んで，練習をすることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列し，あいさつをする 2 準備運動を行う 3 場の設定を行う 4 ドリル練習を行う 5 本時のねらいを確認する 6 自己の課題を確認する 7 課題に合ったコースや練習方法を選択して練習する 8 模範演技を全体で共有する 9 学習カードに本時の振り返りを記入する 		①	①
なか②	3	<p>中間発表会を行い，モチベーションを高め，新たな課題を発見することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列し，あいさつをする 2 準備運動を行う 3 場の設定を行う 4 本時のねらいを確認する 5 小型ハードル中間発表会を行う 6 学習カードに本時の振り返りを記入する 		①	②
なか③	④	<p>自己の技能に合った課題を選んで，練習をすることができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列し，あいさつをする 2 準備運動を行う 3 場の設定を行う 4 ドリル練習を行う 5 本時のねらいを確認する 6 自己の課題を確認する 7 課題に合ったコースや練習方法を選択して練習する 8 全体で模範演技を行う 9 学習カードに本時の振り返りを記入する 	②	②	
まとめ	5	<p>ミニハードル記録会を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整列し，あいさつをする 2 準備運動を行う 3 場の設定を行う 4 本時のねらいを確認する 5 小型ハードル記録会を行う 6 学習カードに本時の振り返りを記入する 		②	③

6 本時の指導

(1) 目標

- インターバル間を一定のリズムで走り切ることができるようにする。 (技能)
- 決まりを守り、友達と励まし合って練習や競争をできるようにする。 (態度)
- 友達の走りに対して、的確な助言をできるようにする。 (思考・判断)

(2) 準備・資料

小型ハードル、段ボールハードル、カラーコーンハードル、フレキシブルハードル、ビブス3色、iPad、掲示物、人形、学習カード、ケンステップ、ゴム、支柱

(3) 展開

※ 本時では「思考・判断」を主として評価する。

	主なねらい・学習活動	教師の働きかけ・評価 (☆)																								
はじめ 15分	1 整列, あいさつ, 健康観察をする。 2 場の設定を行う。 3 ドリル練習を行う ・ゴースタートダッシュ ・ゼロ123! ・ゴム下走り 4 本時のねらい(学習課題)を確認する。	・素早く整列させ, 元気よくあいさつをさせる。 ・服装の確認をし, 安全に学習が進められるようにする。 ・友達と協力しながら, 安全に素早く場の設定を行わせる。 ・ゴースタートダッシュでは, スタートの足の構えに注意させ, スピードを落とさないよう助言する。 ・ゼロ123!では, 実際に声に出しながら走るよう助言したり, 近くの友達が声を出しながら併走したりするよう声をかける。また, ハードル間が長い児童に対しては, ハードル間が短いコースで練習するよう助言する。 ・ゴム下走りでは, 上体が起き上がらないよう助言する。 ・全員でねらいを読み上げさせ, ねらいを意識させる。																								
	友達の動きがもっと上手になるようなアドバイスを送ろう。																									
なか 25分	5 課題に応じたビブスを着用する。 6 コースを選択し, 課題に応じた練習を行う。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">全40メートル 第一ハードルまでは10m</td> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>高さ cm</th> <th>間隔 m</th> <th>台数 台</th> </tr> <tr> <td>小型</td> <td>20</td> <td>4.5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>小型</td> <td>30</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>フレキシブル</td> <td>44</td> <td>4.5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>フレキシブル</td> <td>44</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table> 7 模範演技を行う	全40メートル 第一ハードルまでは10m				種類	高さ cm	間隔 m	台数 台	小型	20	4.5	5	小型	30	5	5	フレキシブル	44	4.5	5	フレキシブル	44	5	5	・赤ビブス…第一ハードルの踏み切り足 ピンクビブス…ハードル間の歩数 緑ビブス…走り越す高さ ・ビブスを着用することで, 周囲の友達が一目で課題を確認することができるようにする。 ・自分の動作を確認できるよう, iPadを活用し, 映像を残しておけるようにする。 ・細かな動きのポイントを確認し, 具体的なアドバイスができるように, 掲示物や人形を用意する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ☆友達の走りに対して, 技能のポイントに即した◎的確な助言をしている。【思考・判断②】(観察・学習カード) ・努力を要する児童に対しては, 技能のポイントを再度確認させ, 運動の観察の視点を焦点化させる。 </div> ・模範演技と技能のポイントを比較させ, 友達の良い動きを見つけたり, 課題を見つけたりする視点を養う。 ・友達の演技に称賛を送り, 認め合う良さを味わわせる。
全40メートル 第一ハードルまでは10m																										
種類	高さ cm	間隔 m	台数 台																							
小型	20	4.5	5																							
小型	30	5	5																							
フレキシブル	44	4.5	5																							
フレキシブル	44	5	5																							
おわり 5分	8 本時の学習を振り返り, 学習カードに記入する。 9 後片付けを行う。 10 次時の学習内容を確認し, あいさつを行う。	・本時の目標にそったまとめを記入するように助言する。 ・素早く, 安全に, 協力して行うように助言する。 ・次時の活動に見通しをもたせ, 意欲を喚起させる。 ・体調やけがの有無を確認し, 健康状態を確認する。																								